



平成28年 7月26日

各 位

会 社 名 株式会社インバスターズクラウド  
代表者名 代 表 取 締 役 古木 大咲  
(コード番号：1435 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 執行役員経営管理本部長 高杉 雄介  
(TEL. 03-6447-0651)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成28年4月28日に公表した連結業績予想及び平成28年2月10日に公表した個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年12月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,950	1,253	1,254	782	51.17
今回修正予想（B）	14,410	1,360	1,360	860	56.28
増減額（B－A）	2,460	107	106	78	
増減率（％）	20.6	8.5	8.5	10.0	
（ご参考）前期第2四 半期実績（平成27年 12月期第2四半期）	—	—	—	—	—

（注1）平成27年12月期第2四半期累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前期第2四半期実績については記載しておりません。

（注2）当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

平成28年12月期通期連結業績予想数値の修正（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	27,263	2,894	2,896	1,802	117.88
今回修正予想（B）	32,700	3,400	3,390	2,140	139.99
増減額（B－A）	5,437	506	494	338	
増減率（％）	19.9	17.5	17.1	18.8	
（ご参考）前期実績 （平成27年12月期）	—	—	—	—	—

（注1）平成27年12月期については連結財務諸表を作成していないため、前期実績については記載していません。

（注2）当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

平成28年12月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	11,950	1,263	1,264	783	51.26
今回修正予想（B）	14,410	1,370	1,370	860	56.30
増減額（B－A）	2,460	107	106	77	
増減率（％）	20.6	8.5	8.4	9.8	
（ご参考）前期第2四 半期実績（平成27年 12月期第2四半期）	—	—	—	—	—

（注1）平成27年12月期第2四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前期第2四半期実績については記載していません。

（注2）当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

平成28年12月期通期個別業績予想数値の修正（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	27,222	2,893	2,894	1,802	117.87
今回修正予想（B）	32,630	3,440	3,440	2,170	141.95
増減額（B－A）	5,408	547	546	368	
増減率（％）	19.9	18.9	18.9	20.4	
（ご参考）前期実績 （平成27年12月期）	21,512	1,897	1,884	1,127	79.41

（注）当社は、平成28年7月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成27年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しております。

修正の理由

（個別業績予想）

日銀によるマイナス金利政策の実施などの良好な資金調達環境を背景に、不動産市場への資金流入が加速しており、このような経済環境の中、当社は、主要な事業であるアパート経営プラットフォーム「TATERU」事業において、「TATERU」の機能強化や「TATERU」の知名度の向上を図ることで、会員数の増加と成約率の維持・向上を推進してまいりました。その結果、当第2四半期累計期間における受注棟数は、当初の想定よりも約30%増で推移いたしました。

アパート経営プラットフォーム「TATERU」事業においては、好調な受注を受け、当第2四半期累計期間の売上高は、予想を上回る見通しであります。また、当第2四半期累計期間において想定を上回った受注に関する引渡し下期の売上高に寄与することとなるため、通期の業績予想も上回る見通しであります。

費用面は、良好な経済環境において更なる受注の拡大を図るため、戦略的に広告宣伝費の予算枠を増大いたしました。また、当社の経営理念であります「ネット×リアルで新しいサービスを」推し進めるために、研究開発活動を積極的に進めるとともに、優秀な人材の確保・育成に精力的に取り組みました。その結果、当第2四半期累計期間における営業利益率は、予算よりも約1ポイント下回る見込みではありますが、売上高の増加を受けて営業利益、経常利益、当期（四半期）純利益は、当初の業績を上回る見通しであります。

（連結業績予想）

連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間及び通期とも主に個別業績予想の修正に伴い修正を行うものであります。

（注）本業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上